

東京大学 大学院理学系研究科 物理学専攻 A7 サブコース

第3回 シンポジウム 生物物理学の新展開

2016年 **5月20日** (金) 16:45-18:30

東京大学本郷キャンパス 理学部4号館 1220 教室

東京都文京区本郷 7-3-1 最寄駅：丸ノ内線・大江戸線 本郷三丁目駅、南北線 東大前駅、千代田線 根津駅

生物は物質で構成されている。したがって物理学を駆使して、生物やその根源にある生命を理解することができるはずである。この立場に立ち、生物物理学は、生命現象を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物・生命を捉える。さらに実験と理論の両アプローチから、生物・生命の普遍的理解を目指す学問である。

近年の技術革新などによって新展開を見せている
生物物理学研究の面白さを、
学部生にもわかりやすく解説します。

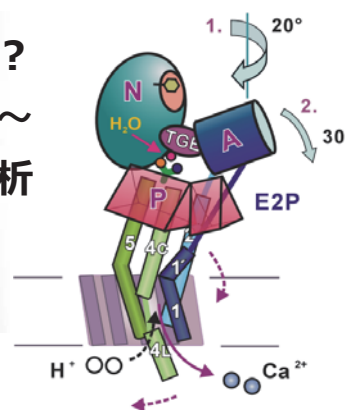


岡田 康志 分子モーターは、なぜ細胞内で迷子にならないのか？
～タンパク質ポリマーの構造相転移による自発的制御機構～

古澤 力 適応進化ダイナミクスの解明：微生物実験と理論解析

酒井 邦嘉 人間の脳はどこまで分かったか、分かるのか

新井 宗仁 蛋白質のフォールディングとデザイン



参加無料 学部生歓迎 終了後に懇親会あり

